

## 2022年度・世界プムセ選手権大会派遣最終選考基準

2022年1月28日  
強化本部

### 1. 派遣対象

世界プムセ選手権大会（2022年4月、韓国・高陽市にて開催予定）

### 2. 選考会（選考基準大会）

- (1) 規定プムセU30以上の年代カテゴリーの男女選手およびフリースタイルプムセOver17の男女選手については下記「2022年度・世界プムセ選手権大会派遣最終選考会」にて選考する。

2022年2月19日（土） 羽島市防災ステーション（岐阜県・羽島市）にて開催

- (2) 規定プムセカデット・ジュニアの男女選手については新型コロナウイルス感染拡大に伴う選手・保護者の負担を考慮し、最終選考会は実施せず、下記「第6回全国少年少女選抜大会」を選考基準大会とし、同大会の結果をもって最終選考を行う。

※フリースタイルプムセUnder17男女については国内の活動状況を勘案し選考しないこととする。

2022年2月13日（日） 兵庫県立武道館（兵庫県・姫路市）にて開催

### 3. 選考基準

- (1) 選考対象は、個人種目について、フリースタイルUnder17を除く全カテゴリーを対象とする。また規定プムセに関してペア種目も対象とする。

	男子個人	女子個人
規定プムセ	カデット	カデット
	ジュニア	ジュニア
	Under 30	Under 30
	Under 40	Under 40
	Under 50	Under 50
	Under 60	Under 60
	Under 65	Under 65
	Over 65	Over 65
フリースタイルプムセ	Over17	Over17

- (2) 強化本部において、後記（4）で定める選考対象選手の中から、後記（5）で定める選考基準に従って、派遣選手を選出する。ただし、後記（5）で定める選考基準に満たない場合には、当該カテゴリーの選手派遣を行わないものとする。

- (3) 前記（2）にて選出された選手につき、強化本部から理事会へ上程し、理事会にて承認後、当該選手が代表選手となる。

#### (4) 選考対象選手

2022年1月1日～12月31日の年齢区分による対象カテゴリーに出場した選手のうち以下

の項目を満たす選手を選考対象選手とする。

- ア 規定プムセU30以上の年代カテゴリーの男女選手およびフリースタイルプムセOver17の男女選手については「2022年度世界プムセ選手権大会第一次選考基準大会」（第15回全日本プムセ選手権大会）に出場し、2位以内に入賞した選手で、かつ決勝の得点が第一次選考基準で定めた得点を上回った選手（規定プムセ5.5 フリースタイルプムセ4.2）
- イ 規定プムセカデット・ジュニアの男女選手については「第6回全国少年少女選抜大会」に出場した選手
- ウ 下記の要件を満たす者
- ① 当協会に個人会員として登録されている者
  - ② 日本国籍を有する者（2022年3月末時点）
  - ③ 国際大会でメダル獲得または賞状を授けられる全日本テコンドー協会の期待に応え得る競技者を持つ者
  - ④ 全日本テコンドー協会の定める定款、倫理規程その他諸規程を遵守していること
  - ⑤ 大会に出場できないスポーツ障害・疾病がない者
  - ⑥ 全日本テコンドー協会強化計画に沿って活動できる者
  - ⑦ NF強化指定選手として選考される意志を有する者
  - ⑧ 国技院が定める段位取得者

#### (5) 選考基準

##### ア 個人競技

2. (1) (2) の選考基準大会において各カテゴリー1位のものを日本代表選手として選考し、2位の選手を補欠とする。

但し、1位となった選手でも、決勝の得点が下記の《基準点》未満である場合は国際競技力に乏しいと判断し、原則として、そのカテゴリーの代表選手は選出しない。

基準点を上回る選手が少ない場合には、強化本部において、基準点を下回るが点数の高い選手を日本代表選手として選出する場合がある。

《基準点》	規定プムセ	6.0
	フリースタイル	4.5

##### イ ペア競技

前記で選考された男女個人または、それに準ずる成績の者の中で、ペア編成により上位入賞を目指せると強化本部が判断した者。

個人カテゴリーで選出された選手、または選考には漏れたがそれに準ずる成績の者（ペアにおいては個人の技量よりもシンクロ率などの要素もあるため、単純な優劣よりも地域や所属も加味し強化できる環境の者を選考対象とした）の中で上位入賞を目指せると強化本部が判断した者とする。

##### ウ 複合種目が設定された場合について

単一の選手が予選と決勝で異なる種目を試技する競技設定（例：予選では規定プムセのみで得点を決定し、決勝へ進んだ8名の選手は規定プムセ+フリースタイルプムセを試技して総得点を競う）となった場合は、2022年度・世界プムセ選手権大会派遣最終選考会におけるそれぞれの種目の上位入賞者の中から、予選通過を重視して強化本部が選考する。

以上